



Läget ?

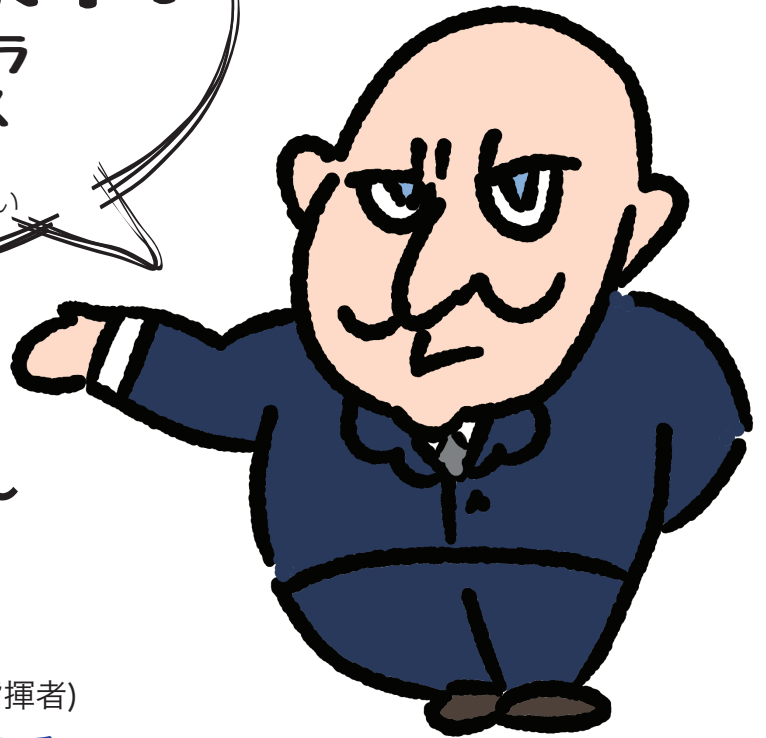
私たちと一緒に演奏しませんか？

弦楽器奏者大募集中！



ヴァイオリン ヴィオラ
チェロ コントラバス

※ヴァイオリンのパートは応相談
※その他の楽器についてはお問い合わせください



第17回定期演奏会 ～ Sibelius Religioso ～

- 期 日 2020年4月5日(日) 午後公演
- 会 場 杉並公会堂 大ホール
- 指 揮 新田 ユリ (アイノラ交響楽団 正指揮者)
- 曲 目 **J.シベリウス 交響曲 第2番**

**2つの厳粛なメロディ
交響曲 第6番**

フリーメイソンのための音楽より「行列聖歌」

- 練習日 原則的に 土曜日の午後 または 夜間 (裏面の日程表をご参照ください)
- 条 件 オーケストラのご経験がある方、練習になるべく参加できる方
- 参加費 4万数千円程度を予定 (若年者割引あり)

(第17回定期演奏会)

お問い合わせ

まずはメールでお問い合わせください info@ainola.jp
Webサイトからもお問い合わせが可能です <https://ainola.jp>

アイノラ交響楽団 ならではポイント！

- ・フィンランドで研鑽を積まれた新田ユリ氏を正指揮者としてお迎えしています。
- ・丁寧なりハーサルで、透明感のある北国の響きが楽しめます。
- ・「交響曲 第5番 初稿」はじめ、他では演奏できない楽曲も演奏することができます。
- ・「フィンランド独立100周年記念事業2017」「日本-フィンランド外交関係樹立100周年 後援イベント」に参加し、フィンランドからも活動への評価をいただいています。
- ・交響曲第2番やフィンランディアなどに加え、シベリウスの知られざる名曲も演奏できます。



【アイノラ交響楽団 第17回定期演奏会 練習日程】

2019年10月現在

10月19日(土)	合奏/国内指揮者	13:00 ~ 16:30	江戸川区・東部区民館 2Fホール (瑞江駅)
10月26日(土)	合奏/国内指揮者	13:00 ~ 17:00	カンマーザール in 立川 4F (立川駅)
11月2日(土)	合奏/佐伯先生	13:00 ~ 17:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
11月9日(土)	合奏/新田先生	18:00 ~ 22:00	砂町文化センター サブレクホール (西大島駅)
11月23日(土祝)	合奏/新田先生	18:00 ~ 22:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
12月7日(土)	合奏/新田先生	13:00 ~ 17:00	砂町文化センター 第2研修室 (西大島駅)
12月21日(土)	合奏/佐伯先生	13:00 ~ 17:00	森下文化センター AVホール (森下駅)
12月28日(土)	合奏/国内指揮者	18:00 ~ 22:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
1月11日(土)	合奏/佐伯先生	13:00 ~ 17:00	カンマーザール in 立川 4F (立川駅)
1月18日(土)	合奏/新田先生	13:00 ~ 17:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
1月25日(土)	合奏/新田先生	13:00 ~ 17:00	カンマーザール in 立川 4F (立川駅)
2月15日(土)	合奏/新田先生	13:00 ~ 17:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
2月22日(土)	合奏/新田先生	13:00 ~ 17:00	江東区文化センター サブレクホール (東陽町駅)
2月29日(土)	合奏/新田先生	13:00 ~ 17:00	カンマーザール in 立川 4F (立川駅)
3月7日(土)	合奏/新田先生	18:00 ~ 22:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
3月21日(土)	合奏/新田先生	12:00 ~ 17:00	杉並公会堂 グランサロン (荻窪駅)
3月28日(土)	集中練習/新田先生	13:00 ~ 21:30	クラシック・スペース100 (新大久保駅/大久保駅)
3月29日(日)	集中練習/新田先生	9:30 ~ 12:30	クラシック・スペース100 (新大久保駅/大久保駅)
4月4日(土)	G.P.	18:00 ~ 22:00	杉並公会堂 大ホール (荻窪駅)
4月5日(日)	本番	午後公演	杉並公会堂 大ホール (荻窪駅)

予定は変更される場合があります。()は最寄駅。記載時間は「開室～退室」です。振り下ろしは開室20分後です。

譜面台は持参ください。曲目等詳細は団員メーリングリストにてご案内してまいります。上記以外にパート、セクション分奏も予定しております。

【第17回定期演奏会 ～ Sibelius Religioso ～】

人生において避けることのできないもののひとつに、家族や大切な人の死があります。いつもそこにあった何よりも大切なものがある日突然失われる…そんな大きな喪失感に苛まれたとき、人はなすすべなく、ただ祈ることしかできない…宗教の出発点はひよっとするとそんなところにあるのかもしれませんが。

ヨーロッパにおいては、宗教と音楽が結合し、ミサ曲やレクイエムといった教会音楽が形作られました。ヨーロッパの中心から少し離れたフィンランドで生きたシベリウスには、そういった典型的な教会音楽はありませんが、ヨーロッパの教会音楽や古い旋法を独自の形で取り入れた宗教的な色合いを感じさせる作品がたくさんあります。そこで今回はシベリウスの“religioso”な音楽とは、をテーマにプログラムを構成しました。

イタリア旅行中に発想され、カトリック的な祈りのコラールを2楽章を持つ交響曲第2番。「聖歌」、「献身」のサブタイトルを持つ2つの厳粛なメロディ。宗教音楽の大家パレストリーナの音楽からの影響を受け、古き教会音楽の雰囲気を持つ交響曲第6番。フリーメーソンの儀式のための音楽として作曲された行列聖歌。

今回のプログラムはシベリウスの人生における死の克服、受容、そして祈りの物語でもあります。交響曲第2番は30代に書かれた前期の作品。愛娘キルスティの死の後に書かれていますが、基本となる調性は最も明るく輝かしい二長調を選択しています。若き日のシベリウスにとって、死とは克服し、乗り越えるべきものだったと言えるのかもしれませんが。一方、他の3曲は50代以降に書かれた後期の作品。50代のシベリウスは2つの大きな死を受け止めなければなりません。ひとつは最大の理解者で支援者であるカルペランの死、もうひとつは弟クリスティアンの死。作品もそれまでと違った方向へと変遷していきます。2つの厳粛なメロディは文字通り厳粛な雰囲気を持った作品。交響曲第6番は、2番と同じ「二調」でも、清澄でありながらほの暗いドーリア調。2人の死を受けて入信したフリーメーソンのために書かれた行列聖歌は穏やかなイ長調。大きな喪失感を味わったシベリウスにとって死とは乗り越えるものから受容するものへと移り変わっていったのかもしれませんが。そんな2つの時代のシベリウスの祈りの音楽を是非お楽しみください。

【日本初演記録】

シベリウス	序曲 ホ長調	第2回定期演奏会
シベリウス	劇音楽「クリスティアンII世」オリジナル全曲版	第2回定期演奏会
シベリウス	交響詩「春の歌」作品16 1894年 初稿	第3回定期演奏会
シベリウス	管弦楽のためのバラード「森の精」作品15	第6回定期演奏会
メリカント	交響詩「レンミンカイネン」作品10	第7回定期演奏会
シベリウス	序曲 イ短調	第8回定期演奏会
シベリウス	「報道の日」祝典のための音楽 JS.137	第14回定期演奏会
シベリウス	火の起源 作品32	第14回定期演奏会



新田 ユリ(正指揮者)

その他、シベリウスの遺族から特別な演奏許可が必要な、交響曲 第5番 初稿(第13回定期演奏会)や、独唱・男声合唱を含む壮大な交響詩「クッレルヴォ」(第12回定期演奏会、等)など、日本では演奏機会の少ない隠れた名曲も、積極的に演奏しています。